施工説明書

INAX

ミラーキャビネット

MPDXシリーズ（1面鏡）

MPDX-601H(−G)、MPDX-751H(−G)

取付前の注意

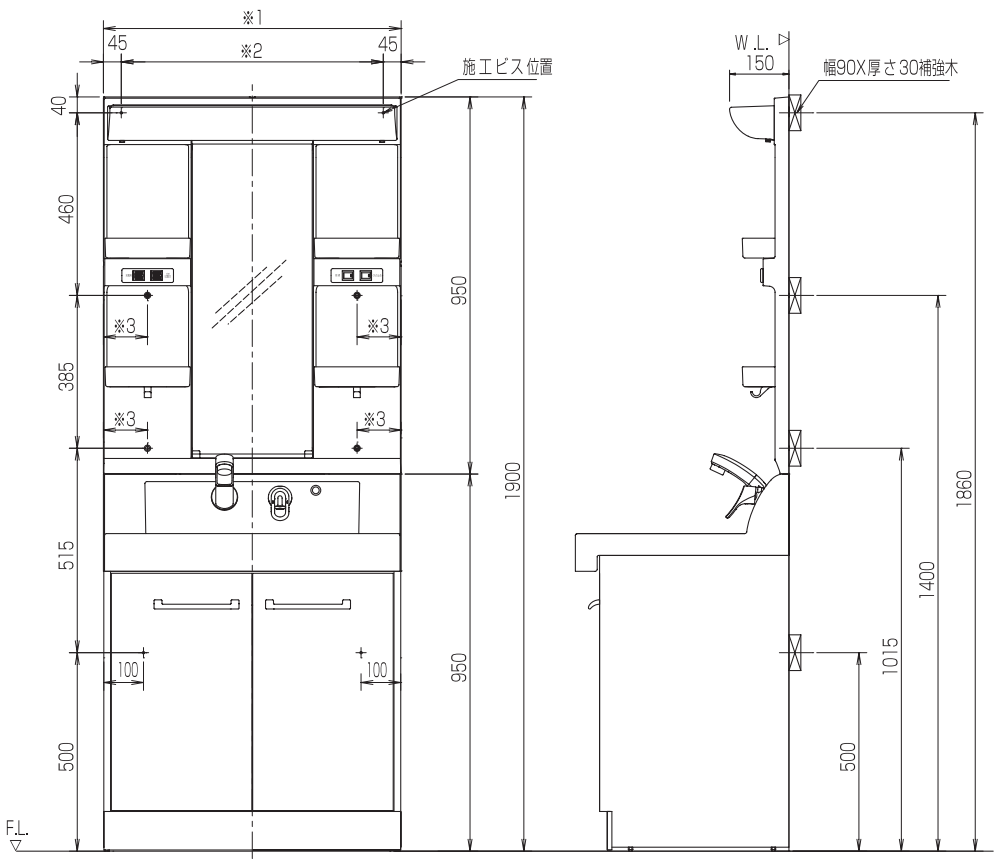
●取付けに際しては必ずこの取付説明書に従い正しく取り付けてください。
※この取付説明書に記載されていない方法で取り付けされ、それが原因で故障を生じた場合は、商品の保証をいたしかねますので、十分ご注意ください。
●「保証書（取扱説明書裏表紙）」は貴店名、取付日を忘れずに記入の上、必ずお客さまにお渡しください。
●取付業者さまは、商品の欠陥を生じさせる可能性などを有しているゆえに、取付業者さまが欠陥を生じさせた場合は過失責任を負うことを十分認識いただき、お客さまが安全で快適にご使用できるようにご協力ください。
●付属部品の内容と数量が合っていることを確認してください。

■付属部品

品番 / 部品名称	MPDX-601H / MPDX-751H
壁固定ねじ（φ4.0×50mmトラス）	6本
化粧キャップ	4個
トレイ	2個
トレイ(フック付き)	2個
照明カバー	1個
歯ブラシ立て	1個（スタンドタイプ）
取扱説明書 取付説明書	各1部

■寸法図（単位:mm）

	※1	※2	※3
750mmサイズ	750	660	111
600mmサイズ	600	510	45



安全のために必ずお守りください

●ここでは取付けに際して守らないと人身事故や、家財の損害に結びつく注意事項を挙げています。
施工前にこの項目をよくお読みいただき、正しく取り付けしてください。

●用語および記号の説明

⚠警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が損傷を負う可能性及び物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
⃠	「　禁　止　」を表します。
⃠	「分解禁止」を表します。
❗	「必ず行うこと」を表します。

⚠警告

❗ **電気工事は電気設備技術基準、内線規程など関連する法令・規定に従って必ず電気工事士の資格を有する者が適切な方法で行ってください。**
※無資格者の工事や、電気工事士による不適切な工事は、火災や漏電を引き起こす恐れがあるほか、関係法令により処罰されることがあります。

❗ **電気工事は必ず分電盤のブレーカーを切って行ってください。**
※感電の恐れがあります。

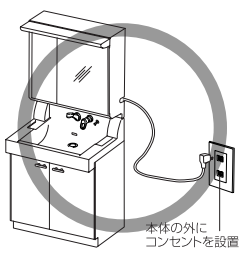
⃠ **改造はしないでください。また、修理技術者以外の人は分解したり修理したりしないでください。**
※火災、感電、ケガ、故障の恐れがあります。

⚠警告

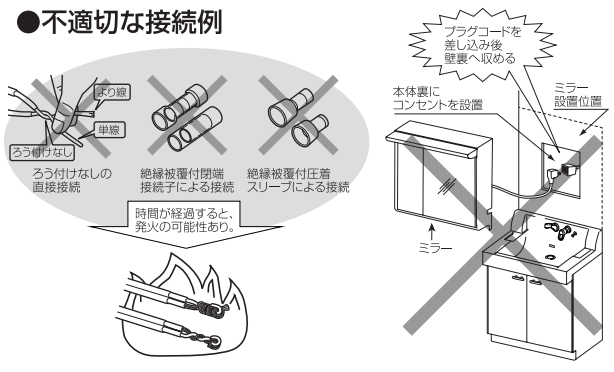
❗ **電源はAC100Vを使用してください。**
※AC100V以外を使用すると火災、感電、ケガ、故障の恐れがあります。

⃠ **ストーブやヒーター等、熱を発生するものの近くに設置しないでください。**
※火災、変形や変色を起こす恐れがあります。

⃠ **■標準タイプ(プラグコード付き)の場合**
コンセントは本体の裏面には設置しないでください。プラグコードを切断して不適切な直結接続をしないでください。プラグコードを取り外して直結接続をしないでください。直結接続を行う場合は直結仕様タイプ(品番末尾-G)にて行ってください。
※点検･確認ができない場所にコンセントを設けることは不適切な行為であり、万一ホコリや湿気等でトラッキングが発生した場合に火災の恐れがあるためお勧めできません。
※プラグコードを切断しての不適切な工事は火災、漏電の恐れがあります。
※標準タイプからプラグコードを取り外すと、取り外す際に渡りコードが緩み、発熱、発火の恐れがあります。



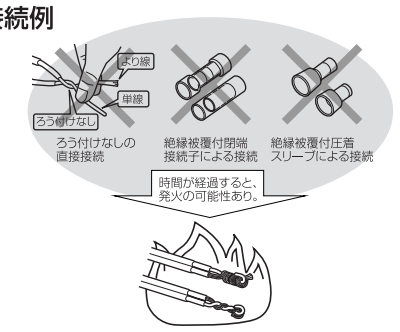
●不適切な接続例



⚠警告

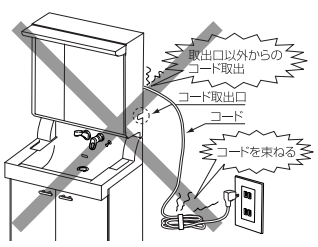
❗ **■直結仕様タイプ(品番末尾-G)の場合**
取付けの際は必ずこの取付説明書に記載されている直結配線の方法に従って、接続を確実に行ってください。標準タイプ(プラグコード付き)では直結配線をしないでください。
※不適切な接続の場合は、火災や漏電の恐れがあります。
※標準タイプからプラグコードを取り外すと、取り外す際に渡りコードが緩み、発熱、発火の恐れがあります。

不適切な接続例

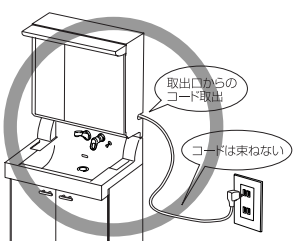


❗ **取付けの際は、この説明書の方法に従ってプラグコードを取り出し、キャビネット本体と壁の間に挟み込まないようにしてください。**
※プラグコードを本体と壁にかみ込ませてしまうと発熱や発火の恐れがあります。また製品にひずみが発生し、鏡や扉のひずみなど商品に悪影響が生ずる恐れがあります。

●不適切な取付例



●正しい取付例



株式会社INAX

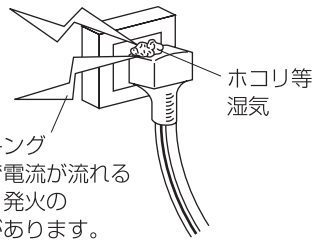
お客様相談センター商品相談窓口ナビダイアル　☎0570-017173
平日「9：00～19：00」対応　土日・祝日「10：00～18：00」対応（年末年始・夏期休暇は除く）
※ナビダイヤルは、PHS・IP電話などご利用できません。☎0562-31-0793をご利用下さい。

⚠ 警告

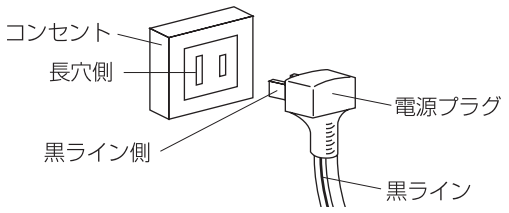
電源プラグを抜くときは、コード部分を持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜いてください。
※火災、感電の恐れがあります。

プラグコードなど各配線に、以下のことをしないでください。
・傷つける。・無理に曲げる。・無理な力を加える。・束ねる。・重いものを載せる。・挟み込む。
※火災、漏電や故障の恐れがあります。

電源プラグをコンセントに接続する際は、電源プラグやコンセントの周辺の木屑、ゴミ、ホコリ等を取り除いて隙間がないように奥まで接続してください。
※木屑、ゴミ、ホコリ等がついているとトラッキング現象（電源プラグの刃の間に溜まった木屑、ゴミ、ホコリ等に湿気が加わり、両刃間で放電され、樹脂部が炭化し導電路が形成され発熱、発火する現象）が発生し、火災の恐れがあります。



電源プラグをコンセントに接続する際は、電源コードの黒ラインが入っている側の刃をコンセントの長穴側に接続してください。
※電源プラグの刃を逆向きにコンセントに接続すると電球を交換する際にソケット部分に触れると感電の恐れがあります。



浴室内等の高温多湿場所へは放置しないでください。
※感電や漏電の恐れがあります。

お願い

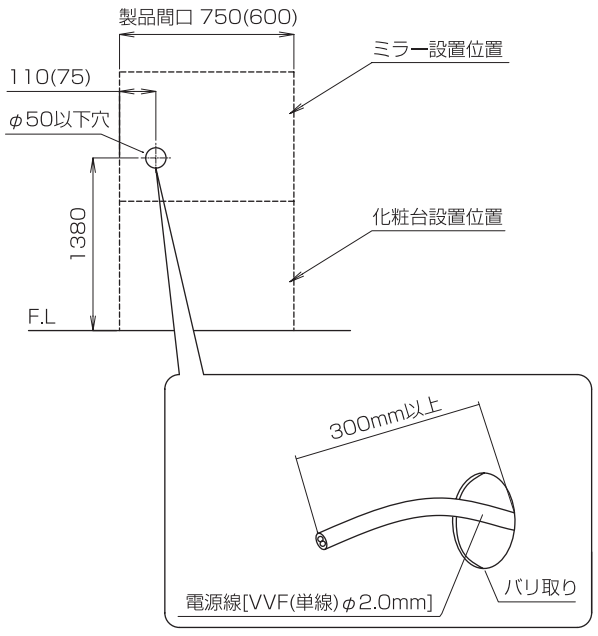
●直射日光が当たる場合は必ずカーテン等でさえぎってください。また、スポット照明や殺菌灯を直接当てないでください。
※変色や変形の原因になります。
●酸性、アルカリ性および塩素系の洗剤類・ベンジン、シンナー、ラッカー、アルコール等の溶剤や油類を使用して、キャビネットを拭かないでください。
※変色や変形の恐れがあります。
●壁面工事や建築仕上げ工事に使われる溶剤・接着剤・洗剤・その他の薬品類は、容器などに記載の注意事項にしたがってお使いください。人体に影響が出たり、使用部材の損傷や劣化の原因になります。

取付前の確認

1. 電源の確認

⚠ 警告

〈直結配線タイプ(品番末尾「-G」の場合)〉
●施工前にあらかじめ下記の所定位置に電源線[VVF（単線）、φ2.0mm]が取り出してあることを確認しておいてください。



●電源線の有効長さが300mm以上であることを確認してください。
●穴あけした端部のバリがとってあり、電源線を傷つけないような状態であることを確認してください。
※端部のバリがあると電源線を傷つけ、火災・感電の恐れがあります。

〈標準タイプ(プラグコード付き)の場合〉
●電源コンセントの位置は、プラグコード(1m)の届く範囲で、床面より高く水のかからない場所に設定してください。
※誤った配線工事は、感電や火災、故障の原因となります。

2. 壁面工事の確認

⚠ 警告

取付強度を保てない場合、キャビネットが落下してケガをする恐れがあります。下記事項が守られていることを事前に確認のうえ、取付けを行ってください。

この説明書に記載されている「キャビネットを取付可能な壁面」以外には、取り付けないでください。記載の条件を満たさない場合は、壁を施工しなおしてください。

壁の不陸が5mm/2mを越える場合は、必ず壁を施工しなおしてください。

壁固定ねじは指定のものを、指定本数使用してください。

乾式壁の場合
●幅90mm×厚み30mm以上の補強木を「ねじ固定位置」（1ページ寸法図参照）に必ず設けてください。
●補強木は必ず柱・間柱・縦桟木など建築躯体に固定してください。また、補強木の固定部材は、キャビネットの固定強度（図1乾式壁参照）と同等以上になるよう、種類・数を選定してください。
●壁固定ねじが補強木の中心に25mm以上かかるように固定してください。
●壁固定ねじを補強木に届かせるため、壁仕上げの総厚さは12.5mm以下にしてください。
●石こうボードなどで補強木が見えない場合は、工務店様に位置および固定方法を確認してください。さらに針刺しなどで壁固定ねじの位置に補強木の中心があることを確認してください。
●リフォームなどの現場で補強木位置が不明な場合は、石こうボードなどをはがして確認してください。また、補強木がない場合は必ず補強木を取り付けてください。

湿式壁の場合
●コンクリートブロック壁の場合、中空部はモルタル詰めしてください。
●AYボルトを壁本体に届かせるため、壁仕上げの総厚さは20mm以下にしてください。
●壁固定ねじに合ったAYボルトを使用して、キャビネットを取り付けてください。

キャビネットを取付可能な壁面

図2 乾式壁

●ボード類直張り　●ボード類胴縁取付け　●タイル仕上げ

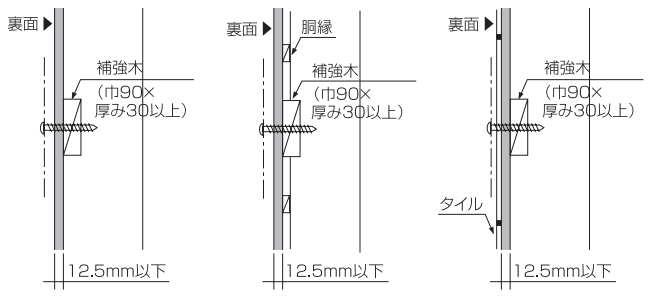
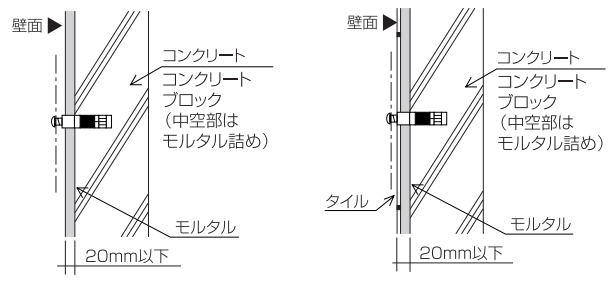


図3 湿式壁

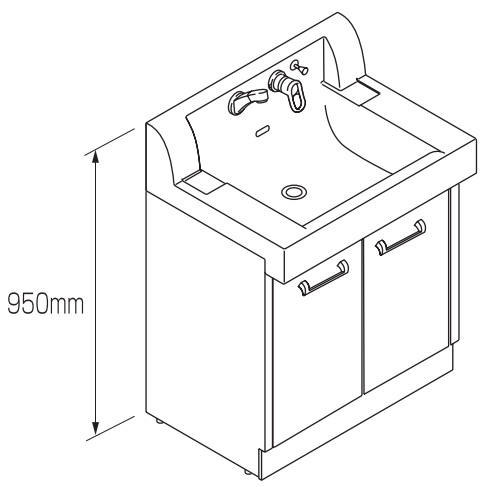
●モルタル仕上げ　●タイル仕上げ



※本文中のねじ固定に関する記載は、乾式壁の場合についてです。
湿式の場合は、下記要領で固定を行ってください。
※別途、AYボルト(品番:#KB-4X60T(AY))を1セット及び、取付ビスセット(品番:#KB-4X60SC(AY))を2セット(MAJシリーズのみ3セット)手配してください。
※AYボルトの取付穴は、穴径7.5mm、穴深さ60mm以上です。

〈湿式壁の場合の取付方法〉
①AYボルトの位置を確認し、位置出しをします。
②壁にφ7.5mmの下穴をあけ、切粉をよく取り除きます。
※下穴は電動ドリルを使用し正確にあけてください。
③AYボルトを挿入してゴム筒を押さえてボルトを抜き取ります。
④キャビネットを壁面に当て、ねじ穴からボルトで固定をします。

3. 化粧台の確認
●洗面化粧台のバックガード上端の高さが床面より950mmであり、かつ水平であることを確認してください。
水平が出ていない場合は、化粧台下端のアジャスター等で調整してください。
※水平が出ていない場合、ミラーキャビネットも水平に設置できません。



取付方法

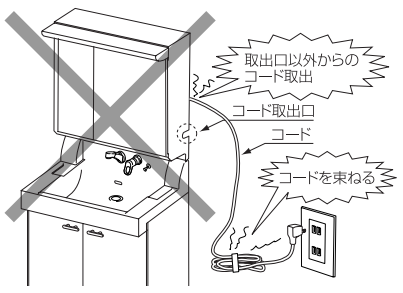
①コードの取り出し
（プラグコードを使用する場合）

⚠ 警告

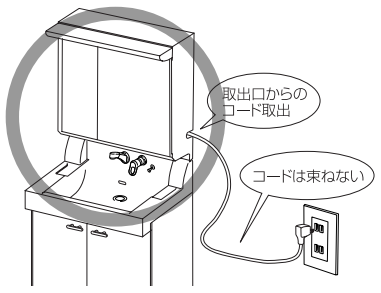
プラグコードはコード取り出し口より取り出し、キャビネット本体と壁の間に挟み込まないようにしてください。

※プラグコードを本体と壁にかみ込ませてしまうと発熱や発火の恐れがあります。
また製品にひずみが発生し、鏡や扉のひずみなど商品に悪影響が生ずる恐れがあります。

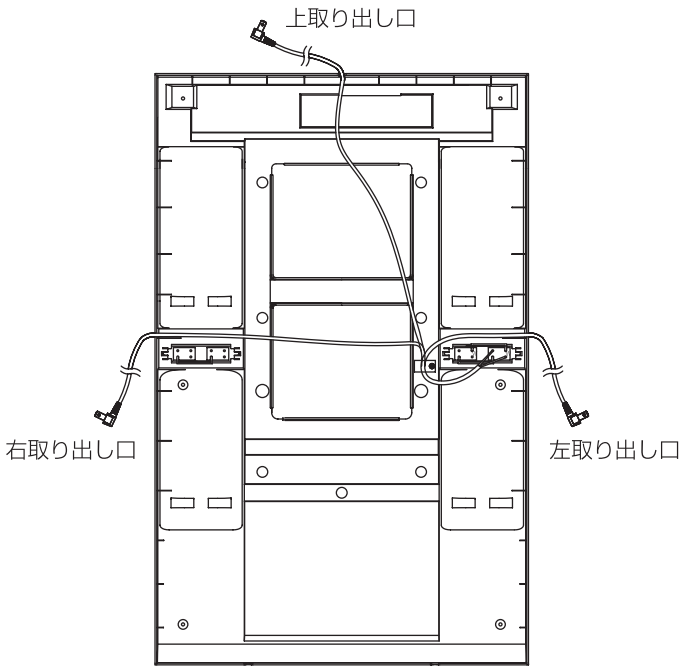
●不適切な施工例



●正しい施工例

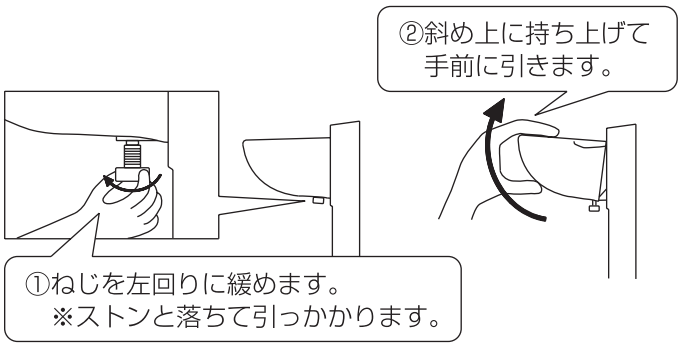


本体の取り出し口からコードを取出します。
※コードの取外し口は左・右・上の計3ヶ所にあります。
※本体と挟み込まないように注意してください。

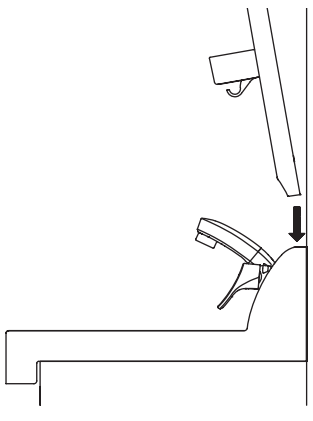


〈裏面図〉

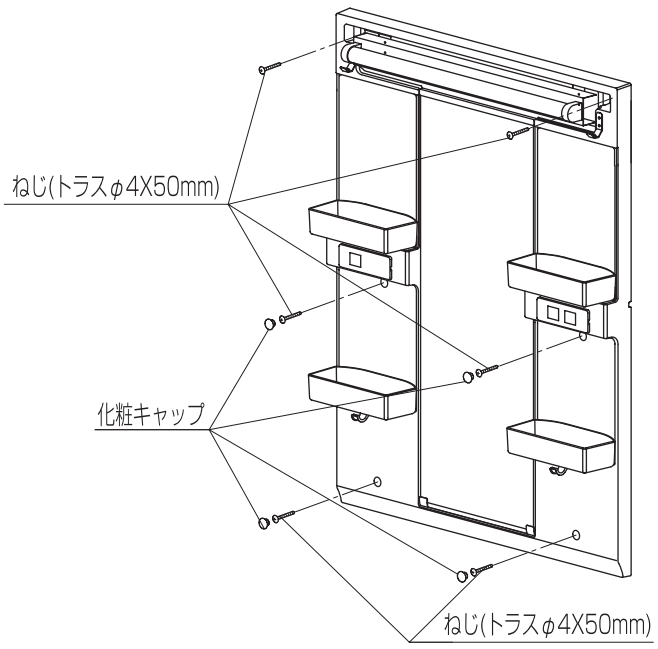
②照明カバーの取り外し
照明カバーの左右下部にある、ネジをゆるめ、下から持ち上げるように外します。



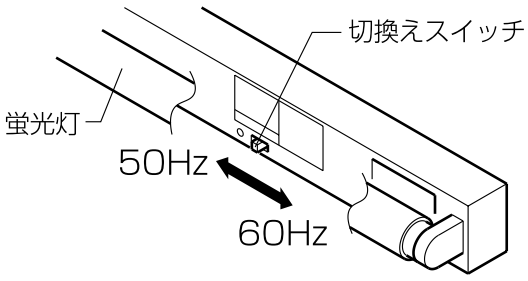
③位置決め
洗面器の立ち上がり部に水平にすき間のないように乗せます。
※すき間がある場合、水の浸入がおこりやすくなります。

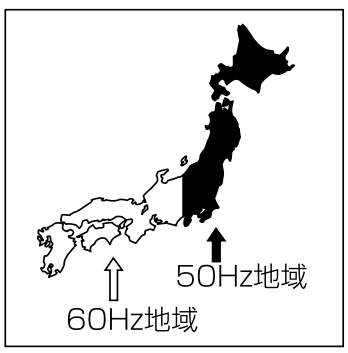


④壁固定
壁固定用ねじは6ヶ所です。
乾式壁の場合は、付属のねじを使用してください。
湿式壁の場合は、別途手配のAYボルト（KB-4X60T（AY））を使用し、前途の〈湿式壁の場合の取付方法〉にならって取り付けてください。

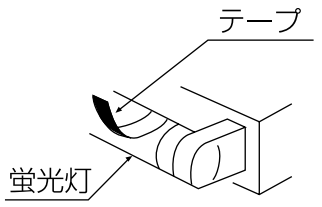


⑤照明カバーの取り付け
⑴照明器具の周波数は50Hzにセットされています。
60Hz地域での使用の際にはスイッチを60Hzに切り替えてください。

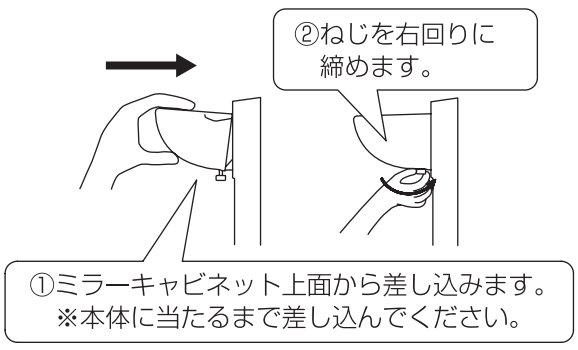




⑵蛍光灯の両端のテープをはがしてください。
※輸送中の破損防止を目的としたテープです。



⑶照明カバーを外したときと逆の手順で取り付けます。



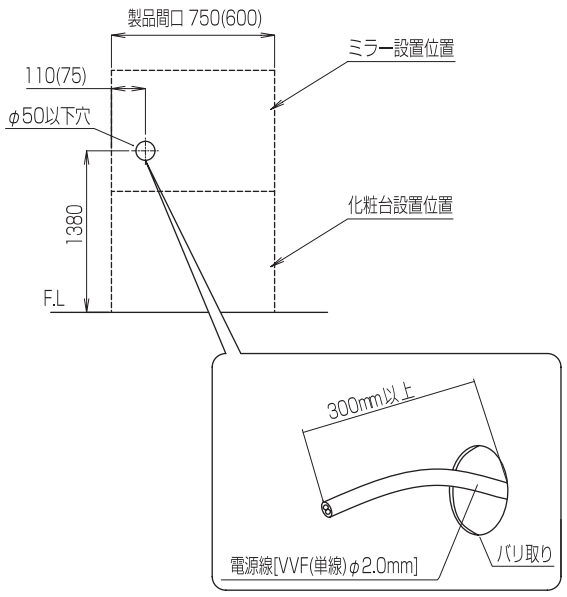
直結配線の方法

電気工事

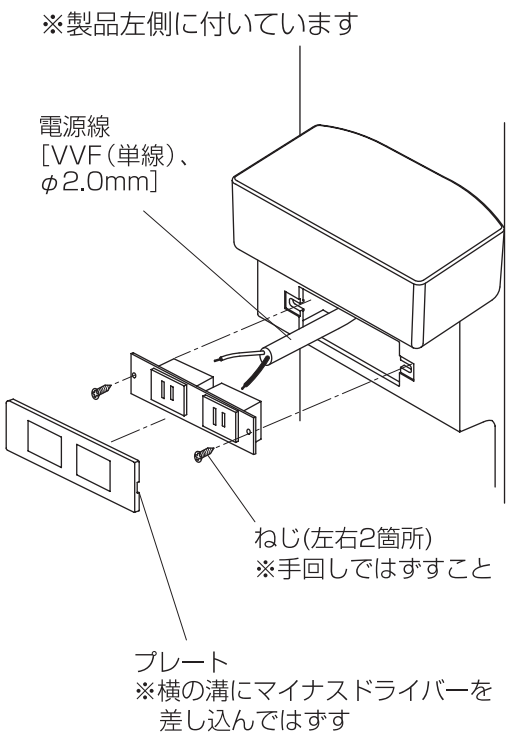
⚠ 警告

- **電気工事は電気設備技術基準、内線規程など関連する法令・規定に従って必ず電気工事士の資格を有する者が適切な方法で行ってください。**
  ※無資格者の工事や、電気工事士による不適切な工事は場合は、火災や漏電を引き起こす恐れがあるほか、関係法令により処罰されることがあります。
- **取付けの際は必ずこの説明書に記載されている直結配線の方法に従って、接続を確実に行ってください。標準タイプ(プラグコード付き)では直結配線をしないでください。**
  ※不適切な接続の場合は、火災や漏電の恐れがあります。
  ※標準タイプからプラグコードを取り外すと、取り外す際に渡りコードが緩み、発熱、発火の恐れがあります。

①取付前にあらかじめ下記の所定位置に電源線[VVF（単線）、φ2.0mm]を取り出してください。
電源線の有効長さを300mm以上にしてください。穴あけした端部は電源線に傷をつけないようにバリをとってください。

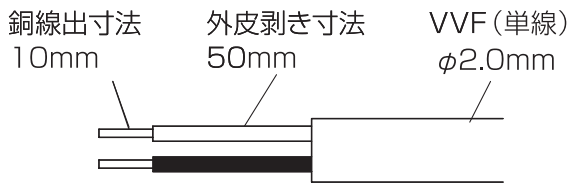


②ミラーキャビネットをキャビネット取付業者に取り付けてもらった後に電源線を取り出してください。

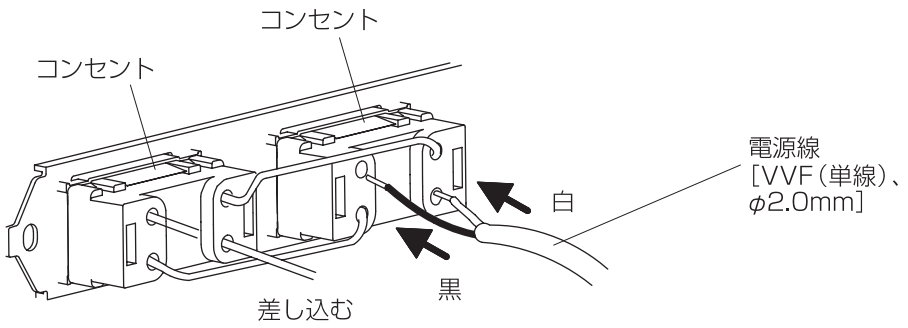


③電源線を以下のように加工してください。

VVFケーブルの被覆と外皮の剥き寸法

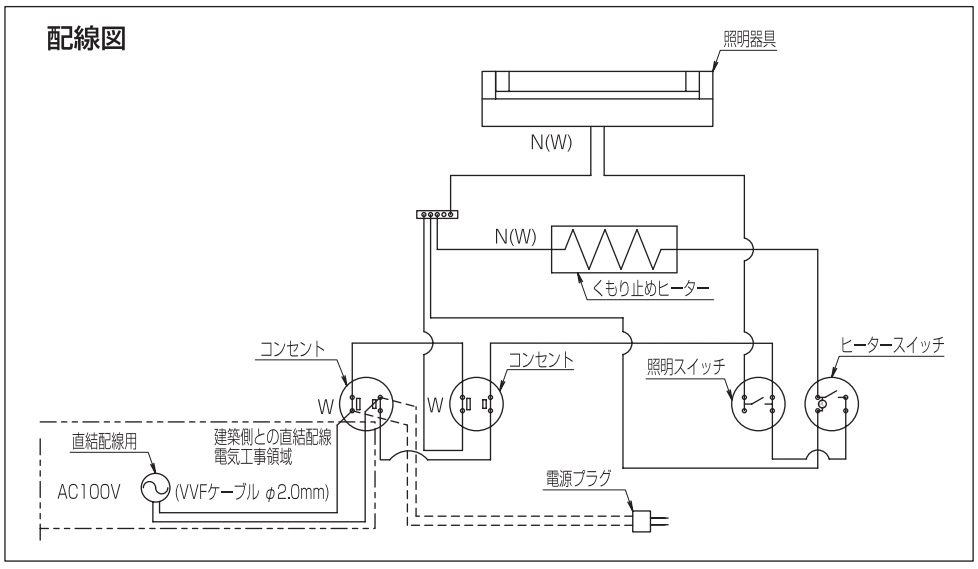


④電源線をコンセントの裏側に差し込んでください。
電源線は端末先端が奥に突き当たるまで必ず確実に差し込んでください。
正確に接続されているか否か1本ごとにかるく引っ張り、必ず確認してください。



⑤配線を中に収め元通りに取り付けてください。

配線図



取付後の確認

■キャビネット本体の確認
①キャビネットの取付ねじが十分に締まっていること、緩みがないことを確認してください。
②キャビネット自体にガタつきがないこと、壁とキャビネットとのすき間がないことを確認してください。
③ミラーキャビネットと化粧台バックガード部の間にすき間がないことを確認してください。

■照明、ヒーターの作動確認
①ミラーキャビネットのプラグコードを建築側の電源コンセントに差し込み、スイッチボタンを押して、照明とヒーターが作動することを確認してください。

お願い
製品についたヨゴレを固くしぼったぬれぶきんでふきとってください。